第18号
平成18年２月

生涯学習の窓

富山大学生涯学習教育研究センターニュース

１．公開講座：本年度企画分ほぼ終了

本年度は、合計39件の公開講座（体験講座を含む）が企画され、そのほとんどが無事終了いたしました。公開講座は、一般市民を対象とした教育サービスで、多様化した学習ニーズに対応するための有力な方法と言えます。

以下、受講者へのアンケート結果の一部を掲載します。

●活力にあふれ、笑顔あふれる楊先生の授業は、毎回興味あふれる内容で大変良かった。教え方がとてもわかりやすく、覚えやすかった。
（富山市、国際理解・中国入門）

●語学だけでなく、生活・文化についても触れられ大変参考になった。
（射水市、ドイツ語入門）

●専門職の受講者が多い中、理解できるか不安でしたが、実践を交えたわかりやすい講義で、楽しく受講できました。
（富山市、人間関係の心理学）

●地球誕生のころからの動植物の進化、ヒトの染色体、遺伝子組み換えや体内時計のしくみなど、わかりやすい楽しい講義でした。
（滑川市、現代生命科学入門）



中国で実施された海外研修風景

●受講、復習、宿題、予習と、次の授業まで忙しい日々を過ごしましたが、それもまた楽しみです。間違いを怖れず話す勇気を引き出してもらい、自分が変わっていくのを感じました。
（富山市、初級英会話）

●知らないことが山ほどあって、１つでも知らなかったことがわかる、というのも「生きる楽しみ」なんだなぁ～と思いました。
（富山市、山歩きの楽しみその２）

●正直、ノコギリ、トンカチを見たとき少々面くらいましたが、使っていくうちに楽しくなり、親子ともども有意義な時間となりました。
（富山市、木挽き人形で学ぶ山里の伝承文化）

●練習の励みになるし、学ぶことも多いため、ハーフのラウンドは必ず行ってほしい。
（富山市、ゴルフ（初級者）コース）



ゴルフ（初級者）コース：ラウンドに挑戦

このように、受講者の多くは富山大学において充実した学習を体験しています。現在、来年度の公開講座を準備中です。今後とも多くの先生方の参加をお待ちしております。

なお、自治体などの各種団体の依頼に応じ講演に出向いていただく「出張公開講座」は、今年度は「家庭教育」を皮切りに計13回開催されました。地域の人々の教養形成、啓蒙機会の提供の取り組みとして好評です。最近はインターネット検索による講演依頼をされる方が増えてきました。現在209件の講座が本センターのホームページにて紹介されています（http://www.life.toyama-u.ac.jp/cgi-bin/db/db.cgi）。ぜひとも多くの先生方に講座情報のデータベース登録をお願いいたします。データベースへの登録は簡単です。本センター宛に講座名、概要をメールまたはＦＡＸ等にて送信していただければ、すみやかに登録処理いたします。既に登録されている場合でも、追加や変更のご希望があればお知らせ下さい。詳細は生涯学習教育研究センターまでお問い合わせ下さい。

電話：076－445－6956、FAX：076－445－6960、E-mail：lifelong@life.toyama-u.ac.jp

2．オープン・クラス（公開授業）：今年はのべ232人の受講生

さて、一般市民に学問の現場で学ぶ機会を提供するオープン・クラス（公開授業）が今年度も実施されました。総開講科目数は1000科目を超え、このうち160科目の授業を、のべ232人の一般市民が受講しました。「学習社会」の進展により、生涯学習の機会はいたるところで充実してきています。そうした中、大学の授業は高度な知識を提供する場所として活用されることが期待されています。以下、受講者と担当教員へのアンケート結果を示します。

≪受講者アンケート≫

- ●家族的な雰囲気で、学生になりきった。話し合いの場があってよかったと思う。（県外）
- ●５～10分程度の質問やフリートーキングの時間があればと思う。（滑川市）
- ●レジュメの引用文と参考文献のご紹介はたいへん役立ちます。きめ細かい素晴らしい講義に感謝いたします。（富山市）
- ●学内に託児所があれば受講しやすいのですが・・・（富山市）
- ●他の講座では物足りなさを感じていました。オープンクラスに初めて受講の機会を得ましたが、さすが国立大学の講義と大いに満足しました（富山市）
- ●礼儀正しい学生が多く、声をかけてくれたりして、とても気分がいいです。（南砺市）
- ●言語だけでなく文学や歴史についても幅広く講義していただいた。（小矢部市）
- ●地域社会に対して専門分野の講義が聴講できる機会があるのはとても有り難く、今後もこの制度を続けてほしい。（富山市）
- ●若い頃とはまた違った意味でゆとりのある真の学びの楽しみを味わった。（上市町）
- ●もっと受講できる科目を増やしてほしい。（射水市）

≪教員アンケート≫

- ○授業中のコミュニケーションがいきいきして有意義だった。
- ○普段の授業を公開することに意義がある。外部受講者がいることで「よそ行き」の授業になってはならない。
- ○一般市民のようなまじめな受講態度を学生諸君に期待したい！
- ○多くの方が参加できるよう、ＰＲをお願いしたい。
- ○受講生の学力レベルが高く、学生たちにもその熱意が伝わったのではないか。
- ○留学先の大学では、一般の人に大学の授業が開放されているので違和感はなかった。

このように、一般市民の大学教育への参加は、受講者本人だけでなく、正規学生や担当教員にも好影響をもたらすことが多いようです。先生方には、ぜひ多くの授業を公開していただきますよう、ご協力願います。


クーリングオフの事例紹介をする小杉高校の生徒

なお、今回は「高大連携」事業の一環として、このオープン・クラスに小杉高校の生徒が参加しました。平成17年９月21日(水)には、「校外学修発表会」が実施され、学習の成果が披露されました。「情熱的な研究成果にふれた。資料収集のすごさに驚いた。」(ドラえもんの世界)「睡眠にはレム・ノンレムの区別があることがわかった。また、年齢と共に睡眠障害のあり方も変化することを学んだ。」(睡眠の科学)担当された先生からは、「一番前で熱心に受講している姿に、学生たちも刺激を受けたのでは」「契約関係は意思表示が大切、ぜひ生活の中で生かしていただきたい」とのコメントをいただきました。高大連携は、高校生の知的好奇心を刺激するというばかりでなく、未来の富大生を育てるという意味も持っており、今後とも多くの生徒を受け入れていければと思います。

３．夢大学inとやま2005・親子フェスティバル

親子フェスティバルは、今や「富大の看板行事」の一つといっても過言ではないでしょう。


第１体育館を埋め尽くす壮大な巨大迷路

本年度は11月12日(土)～13日(日)の日程で開催されました。初日12時より共通教育棟１Ｆ玄関で開会式が行われましたが、開始前にすでに長蛇の列。なんと、両日あわせての(のべ)来場者は、9536人！１万人にせまる数字となりました。

今年の企画も力のこもったものが多く見られました。実施された企画は17件、五福キャンパス内で５会場にも及びました。以下、来場者へのインタビューです。

- ●親子で参加できる企画は画期的。バザーなどを開いてもよいのでは。(富山市)
- ●巨大迷路最高！子どもがなかなか出てきません。(富山市)
- ●(学生時代)第１回目の実行委員を担当しましたが、規模が大きくなりましたね。子どもを「ちびっこめいろ」に連れていきましたが、外から見守ることができてよかったです。(射水市)
- ●おかしのアトリエに１時間以上並びました。(富山市)


スタッフと氷見ひかり第２保育園の皆様

なお、おかしのアトリエで制作した巨大なおかしのお城を、北日本新聞社を通じて引取先を募集したところ、多くの問い合わせがありました。抽選の結果、氷見ひかり第２保育園におゆずりすることが決まりました。

4.第Ⅳ期経営者大学を開催



去る平成17年10月11日より、本センターと富山県中小企業家同友会共育委員会の主催により、企業経営者、後継者、幹部社員を対象に、「経営者大学」を開催いたしました。今回で第４回目となります。

例年通り経営戦略や若手社員育成が中心テーマとなりましたが、富山経済の地域性、産学連携、地域の教育力、農業分野など、新しいテーマを取りそろえての開講となりました。

午後６時半の遅い時間からの開始、さらに2時間半もの長い講座で、担当された先生方、ならびに受講者ともにハードなスケジュールをこなされましたが、今回も盛況のうちに幕を閉じました。

実施日時、担当された先生方、講座のテーマは次にあげる通りです。

	講師（所属）	テーマ
10月11日（火）	浜松誠二（富山県）	富山の産業　過去、現在、未来
10月25日（火）	石黒正熙（地域共同研究センター）	中小企業における産学連携の現状と課題
11月8日（火）	内田康郎（経済学部）	他社との連携を通じてつくりだす中小企業の競争戦略
11月24日（木）	黒羽正見（人間発達科学部）	地域の教育力とは何か
12月13日（火）	酒井富夫（極東地域研究センター）	富山県農業の将来性と展望＆私たちの課題

5.会議報告

◇平成17年度第１回生涯学習教育研究センター運営委員会

日　時：平成17年12月15日10:00～11:50

場　所：生涯学習教育研究センター会議室

(1) 生涯学習教育研究センター関連規則について

(2) 平成17年度事業報告について

(3) 平成18年度事業計画について

◇平成17年度第３回生涯学習教育研究センター公開講座専門委員会

平成17年12月15日15:00～16:30

場　所：生涯学習教育研究センター会議室

●平成18年度公開講座について

◇第27回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会

日　時：平成17年11月25日（金）～26日（土）

場　所：コガノイベイホテル（主催：和歌山大学）

●基調講演、事例研究「宇宙教育研究ネットワークプロジェクトについて」「高・大連携による地域共同学習の創造」「大学との協働による村おこしのマスタープランについて」、意見交換、他

発行：富山大学生涯学習教育研究センター／〒930-8555富山市五福3190／TEL076-445-6956／FAX076-445-6960